

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年5月13日（水）

2 確認箇所

- ・サブドレン他集水設備高台移設場所（33.5m盤上）（図1）
- ・H1タンクエリア（図1）

3 確認項目

- （1）サブドレン他集水設備の高台移設工事の進捗状況
- （2）ALPS処理水の移送状況

4 確認結果の概要

（1）サブドレン他集水設備の高台移設工事の進捗状況

東京電力では、地下水が原子炉建屋等に流れ込むことで発生する汚染水の量を低減させるため、建屋近傍の井戸（サブドレン）から地下水の汲み上げを実施している。汲み上げた地下水は、浄化処理の前に一度、海岸近傍（T.P.^{※1}2.5m盤（図1））に設置されている設備（以下「サブドレン他集水設備」という。）に集水されているが、東京電力では津波対策として、当該設備を構内の高台（T.P.33.5m盤（図1））へ移設する工事を進めている。

今回は、サブドレン他集水設備の高台移設工事の進捗状況を確認した。（前回確認：令和7年12月10日）

- ・高台集水タンク周囲に設置された堰内において、配管敷設及び弁の設置作業が進捗していた。（写真1）
- ・高台集水タンク周辺には雨よけカバーの骨組みが設置されていたほか、タンクごとにサンプリング台が設置されていた。（写真2）
- ・高台集水タンクからサブドレン他浄化装置への払い出しを行う、高台集水タンク払出ポンプ建屋内において、作業は行われていなかったが、ポンプを固定するための支持架台の設置が進められていた。（写真3）

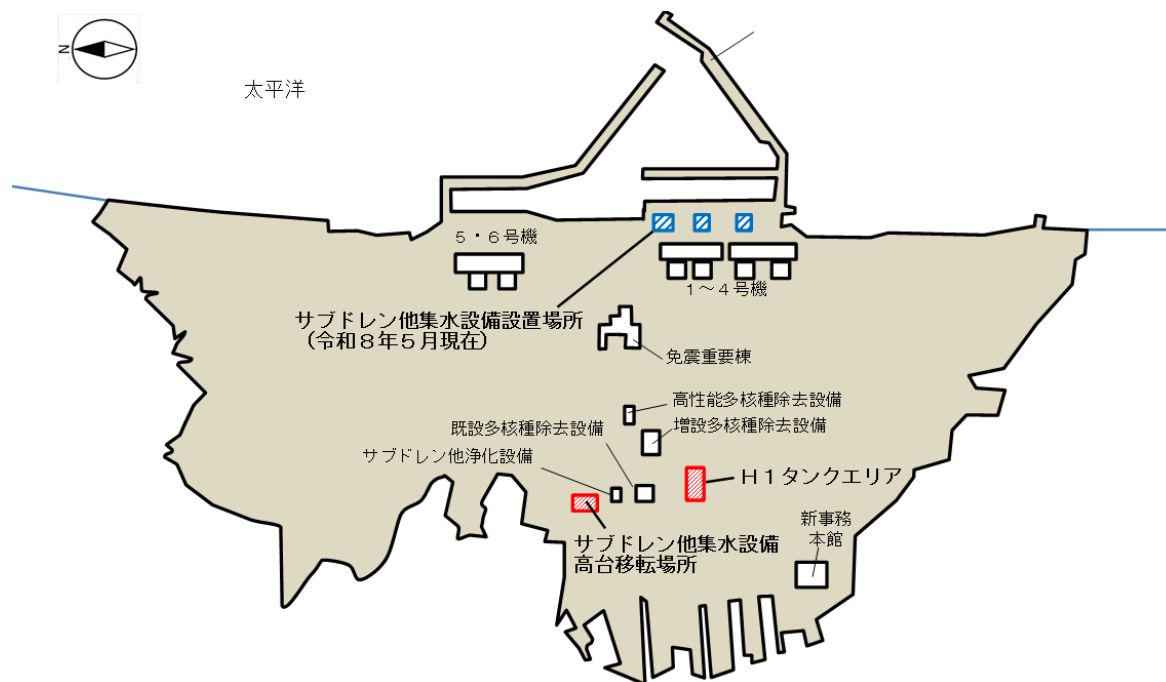
※1 T.P.：東京湾平均海面を基準（0m）とした高さ（標高）のこと。

（2）ALPS処理水の移送状況

本年度、海洋放出が予定されているH1東タンクエリアのALPS処理水が、測定・確認用のK4タンクエリアに移送されていることから、その状況を確認した。（前回確認（G4南タンク）：令和8年3月5日）（写真4）

- ・H1東タンクエリアの北側にK4タンクへの移送ポンプが2台設置されていた。なお、現場確認時において、2台ともポンプは停止していた。（写真5）
- ・タンクの払出弁や移送配管の接続部には、漏えい検知器が入ったプラスチック製の受けパンが設置されており、万が一の漏えい時に検知することができるよう措置が講じられていた。（写真6）

- ・確認した範囲では、タンク及び接続配管からの漏えい等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 高台集水タンク



(写真1②) 配管及び弁の敷設状況



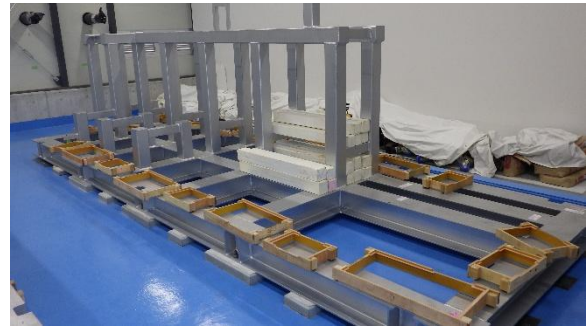
(写真2①) 雨よけカバーの骨組み



(写真2②) サンプリング台



(写真3①) 高台集水タンク払出ポンプ
建屋



(写真3②) ポンプの支持架台



(写真4) H1東タンクエリア



(写真5①) 移送ポンプ①



(写真5②) 移送ポンプ②



(写真6) 漏えい対策

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。